

安全データシート (SDS)

作成 2025年12月21日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : スプレーのり T22
供給者の会社名 : 株式会社戸谷染料商店
供給者の住所 : 〒111-0032 東京都台東区浅草5-69-9
電話番号 : 03-3873-3111
緊急連絡先 : 03-3873-3111
FAX番号 : 03-3873-3115
メールアドレス : chemical@toyas.co.jp
推奨用途 : 接着
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途を禁止する

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性	エアゾール	区分 1
	引火性液体	区分 2
健康有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な刺激性/眼刺激性	区分 2 A
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	区分 1 (神経系)
	誤えん有害性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 2

(注) 物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性に関し、上記以外の項目は現時点で「分類できない」又は「区分に該当しない」であるため記載省略。

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 極めて可燃性の高いエアゾール (H222)
高圧容器: 熱すると破裂のおそれ (H229)
皮膚刺激 (H315)
強い眼刺激 (H319)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
呼吸器への刺激のおそれ (H335)
眠気又はめまいのおそれ (H336)
長期にわたる、又は反復暴露により臓器の障害(神経系) (H372)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)
水性生物に毒性 (H401)

注意書き

安全対策 : ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。－禁煙。(P210)

- ・裸火または他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
 - ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/施工機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。(P241+242+243)
 - ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
 - ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
 - ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
 - ・環境への放出を避けること。(P273)
 - ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
 - ・取扱後は手、口、顔をよく洗うこと。(P264)
 - ・使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)
 - ・使用前に安全情報シート(SDS)を参照すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- 応急措置 :
- ・飲み込んだ場合、無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。(P301+331+310)
 - ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P304+340+312)
 - ・皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚又は髪を水/シャワーで洗うこと。(P303+361+353)
 - ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。(P332+313)
 - ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+351+338)
 - ・眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当てを受けること。(P337+313)
 - ・気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。(P314)
 - ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。(P308+313)
 - ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+364)
 - ・火災の場合、消火するために指定の消火剤を使用すること。(P370+378)
- 保管 :
- ・施錠して保管すること。(P405)
 - ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。(P403+235+233)
 - ・法令で定められた限度内で保管すること。
 - ・日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+412)
- 廃棄 :
- ・内容物を使い切ってから廃棄すること。
 - ・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)
 - ・有毒ガスが発生する場合がありますので、燃やさないこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

化学物質名	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
ノルマルヘキサン	40~44	(2-6)	(2- (4) -1340)	110-54-3
スチレンブタジエン系樹脂	16~20	非該当	非該当	—
ジメチルエーテル	38~42	(2-360)	—	115-10-6

含有量は参考値

4. 応急措置

- 応急措置一般 : 直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として水で眼を洗う。
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をよくすすぐこと。
気分が悪いときは医師の診断、手当を受けること。
- 予想される急性症状 : 吸入すると、めまい、頭痛、吐き気を起こす恐れがある。
及び遅発性症状 : 皮膚に接触すると炎症を起こす可能性がある。
ミスト、蒸気を吸入すると気分が悪くなることもある。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水。
- 特有の危険有害性 : 引火性液体及び蒸気。
加熱により容器が爆発する恐れがある。
火災によって有毒ガスを発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
大規模火災は泡消火剤で空気を遮断する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動が不可能な場合容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は適切な保護具（自給式呼吸器、防火服、防火面等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 十分に換気すること。
処理作業の際には保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス・蒸気を吸入しないようにすること。
風上から作業し、風下の人を退避させること。
安全なエリアに人員を避難させる。

非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
側溝、下水、河川に流出しないよう注意する。

流失した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- 二次災害の防止策 : 排水溝または水路への侵入を防ぐ。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 使用前にすべての安全注意を読み理解すること。
- 局所排気・全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護具措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
皮膚、眼との接触を避ける。
- 接触回避 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。
- 衛生対策 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後はよく手を洗い、うがいを十分に行う。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。
直射日光や火気を避けること。
施錠して保管すること。
- 技術的対策 : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱う為に必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
- 混触禁止製品 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

8. ばく露防止及び保護措置

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度		
		日本産業 衛生学会	ACGIH	
			TWA	STEL
成 n-ヘキサン	50 ppm	40 ppm	50 ppm	—
分 ジメチルエーテル	—	—	—	—

- 設備対策 : 作業場所の換気を十分に行い、必要に応じ局所排気装置等の設備をもうけること。
取扱い場所の電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策をする。
取扱い場所の近くに洗眼器、シャワーを設け、その位置を表示する。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防毒マスク。(有機ガス用)
- 手の保護具 : 保護手袋。適切な耐化学性手袋を着用。

眼の保護具	: 保護眼鏡。(ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。保護靴または長靴。
衛生対策	: 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 作業後、手を十分に洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 粘稠液、液体、液化ガス
色	: 無色透明
臭い	: 特異臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 69°C (ノルマルヘキサン)、-24.8°C (ジメチルエーテル)
引火点	: -22°C (ノルマルヘキサン)、-42°C (ジメチルエーテル)
自然発火点	: 225°C (ノルマルヘキサン)、350°C (ジメチルエーテル)
分解温度	: データなし
可燃性	: 可燃性
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°C)	: データなし
相対密度	: データなし
比重(相対密度)	: 0.750±0.05 (20°C) 原液として
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 1.1-7.5 v o l % (ノルマルヘキサン) 3.4-27.0 v o l % (ジメチルエーテル)
粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 常温、常圧で安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。 強アルカリ、強酸化剤と化学反応を起こす。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱、炎や火花の禁止。発火源をすべて断つ。 高温、強酸化剤、強酸、強アルカリとの接触。
混触危険物質	: 強酸、強アルカリ、強酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物を生じる。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2 (ノルマルヘキサン)
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: 区分2A (ノルマルヘキサン)

呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分2 (ノルマルヘキサン)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分3 (ノルマルヘキサン) 麻酔作用、気道刺激性
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分1 (ノルマルヘキサン) 神経系
誤えん有害性	: 区分1 (ノルマルヘキサン)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分2 (ノルマルヘキサン)
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分に該当しない
残留性・分解性	: 良分解性 (ノルマルヘキサン) 難分解性、低濃縮性 (ジメチルエーテル) 混合物としてのデータなし
生体蓄積性	: 生物蓄積性が低いと推定される (ノルマルヘキサン) 混合物としてのデータなし
土壤中の移動性	: 現在のところ知見なし 混合物としてのデータなし
オゾン層への有害性	: 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規、法令を順守する。 不用になった製品及び空容器を廃棄するときは、法的に認可を受けた産業廃棄物処理業者に、廃棄物処理を委託すること。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後、都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。
廃棄方法	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規、法令を遵守し適正に処理する。
追加情報	: 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	: 1950
品名	: エアゾール
国連分類	: 2.1
容器等級	: ー
海洋汚染物質	: ノルマルヘキサン 海洋汚染物質C類

国内規制

陸上輸送	: 消防法ほか法令の輸送について定めるところに従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。

- 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
 緊急時応急措置指針番号 : 126
 特別の安全対策 : 運搬に際しては容器の破損、漏洩がないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積みこみ、荷崩れの防止を確実に行う。
 引火性の強い溶剤、ガスを含有しているので火気厳禁。

15. 適用法令

- 化審法 : ノルマルヘキサン 既存化学物質 2-6、優先評価化学物質3
 ジメチルエーテル 既存化学物質 2-360
- 労働安全衛生法
 表示対象物 : ヘキサン (別表第9-520)
 通知対象物 : ヘキサン (別表第9-520)
 有機溶剤中毒予防規則 : ノルマルヘキサン 第二種有機溶剤、別表第六の二の39号
 がん原性物質 : 該当せず
 皮膚等障害化学物質 : ノルマルヘキサン 皮膚吸収性有害物質
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : ノルマルヘキサン 第1種指定化学物質 政令番号(1-436)
 管理番号(392)
- 毒物及び劇物取締法 : 該当せず
 オゾン層保護法 : 該当せず
 大気汚染防止法 : ノルマルヘキサン 中環審第9次答申(別表1)の207
 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
 ノルマルヘキサン 揮発性有機化合物(法第2条第4項)
 (環境省から都道府県への通達)
- 消防法 : 危険物第4類第1石油類非水溶性 危険等級II
 水質汚濁防止法 : 該当せず
 船舶安全法 : 該当せず
 悪臭防止法 : 該当せず

16. その他の情報

- 参考文献 溶剤ハンドブック(産業図書株式会社)、16514の化学商品(化学日報社)
 原料各社の「安全データシート」

このSDSはJIS Z 7253(2019)に準拠する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の手配を対象としたものであって特別な手配をする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには充分注意して下さい。